

# 建設マスター6名・ジュニアマスター2名

## 内発協推せんの8名全員が受賞



あいさつする谷協 暁 局長



建設マスターの受賞者代表による謝辞



ジュニアマスターの顕彰状の授与



式典会場に集まった受賞者たち

常に建設現場の第一線で活躍し続けている年齢60歳以下で実務経験20年以上の優秀な技能者・技術者を顕彰する「平成27年度優秀施工者（建設マスター）国土交通大臣顕彰式典」が10月9日（金）午後、東京都港区のメルパルクホールで開催された。主催者は国土交通省。

平成27年度は、内発協が推せんした建設マスター候補者6名、建設ジュニアマスター候補者2名の合わせて8名全員が受賞し、栄えある建設マスター、建設ジュニアマスターの称号を授与された。

平成27年度の顕彰式典では、平成4年度からスタートした建設マスターの受賞者として、内発協が推せんした6名を含む406名全員に対し、石井啓一（いしい・けいち）国土交通大臣より建設マスターの称号が授与され、谷協暁（たにわき・さとる）

国土交通省土地・建設産業局長より顕彰状と記念の建設マスターバッジ（純銀製）が贈呈された。

続いて、平成27年度からスタートした年齢39歳以下で実務経験10年以上の優秀な技能者・技術者を顕彰する「青年優秀施工者（建設ジュニアマスター）土地・建設産業局長顕彰」が行われた。建設ジュニアマスターの受賞者として、内発協が推せんした2名を含む110名全員に対し、谷協局長より建設ジュニアマスターの称号が授与され、顕彰状と記念のバッジ（純銀製）が贈呈された。

その後、受賞者のお子さんなどからの「作文」が紹介された。「ぼく・わたしから見たお父さん・お母さんの仕事」というテーマで、受賞者のお子さんなどから寄せられた作文18編のうち、数編が司会者により朗読された。



村田 昌哉 氏



西形 久雄 氏



横田 和久 氏



永石 竜二 氏と令夫人

### 僕からみたお父さん 横田 涼(子)

僕は、つい最近父の現場を見に行った事がありました。その時、普段家に居る父と現場で仕事をしている時の父との顔つきが全然違いました。周りの作業員の人たちに指示をしている姿、そして父が作業をしている姿を見て、僕は父の一生懸命働いている姿を見ることが出来、家に居る時の父と現場で働いている父の両方の姿が見れとても良い経験になりました。

今回このような賞に推薦された事は、とても凄い事だと思います。もし受賞したらこれからもっと仕事を頑張りたいと思います、そして父の仕事について今以上に詳しく知りたいと思います。

僕は大学生なので、あと3年後父と同じ様な職場に就くかもしれません、その時は、父と一緒に仕事出来るように、健康に気をつけて行って欲しいです。

建設マスター式典で紹介された作文



立崎 祐一 氏



亀井 隆夫 氏



香取 正樹 氏



蒲生 壮 氏



国土交通省の列席者3名



顕彰審査委員会の委員9名

